

# NVC Monthly



寝屋川映像同好会会報

第113号(201906)

発行 竹田 幸男



## ■寝屋川市映像協会総会

3月24日(日)午後1時より市民会館第11会議室で開催、新井議長のもと30年度の活動報告、決算報告、会計監査報告が決議され、次年度の活動目標、予算が決議され、次いで役員改選では現会長、副会長が信任されました。

## ■第9回ビデオ作品発表会実施

5月18日、松心会館3階32A・B会議室で2年ぶりに開催、早朝から準備して午前の部は10時上映、プログラムを多数配布したので、前を上回る来場があり全11作を映写しました。午後は14時30分映写、同じ日に松愛会の総会が2会場で行わ



れていて、午後は総会終了後の来場者もありました。

## ■映像協会本年度第1回撮影会「けいはんな記念公園」

5月22日、好天に恵まれ予定通り実施、JR学研都市線の各駅から乗り込んで祝園駅着、バスで公園へ、水景園を中心とした公園内の森の散策はちょっとしたハイキング気分も味わえ、一日楽しく過ごしました。



## 例会の窓

### 映像同好会3月例会

日時：3月13日（水）13：30

市民活動センター4Fこども部屋

出席：新井 小笠原 佐伯 妹尾 竹田 中村地区委員

欠席：1名（50音順敬称略）

#### 例会次第

#### 1. 報告・連絡・協議事項

（1）会報随想 佐伯さん（次回6月発行、原稿は5／末）

（2）文化連盟理事会の報告（新井理事）

・第6回文化連盟展の予定日取りは？

（3）第9回ビデオ作品発表会

・平成31年5月18日（土）予定、準備日程・プログラム等の相談

・当日松心会館で総会を行う支部へのPR方法の相談

・午前の部 10：00～12：00 午後の部 14：30～16：30

打ち上げ17：15～

・作品は3月例会で集める。4月上旬まで修正可能、10分以下、2作まで予定。

・4月例会でプログラム配布予定 日程は西暦表示

（4）映像協会総会・合同例会

・3／24（日）午後1時より市民会館第11会議室で行う。

（5）次回撮影会の情報

#### 3. 映写・研究発表

4. 各会員の最近の活動状況・情報交換・困りごと・当面する問題点等（略）



#### ■映像同好会4月総会／例会

日時：4月10日（水） 13：30～

場所：市民活動センター4F こども部屋

出席者：新井 小笠原 佐伯 竹田 谷 中村地区委員

欠席者：2名（50音順・敬称略）

#### ■映像同好会総会

1. 寝屋川市映像協会の30年度活動報告 同好会活動の基本として説明

2. 寝屋川市映像協会の31年度活動方針 同上

3. 会計報告 中村さんより

4. 役員選任の件 谷さんを幹事に、映像協会の常任幹事に推薦・承認

#### ■4月例会次第

## 1. 報告・連絡・協議事項

(1) 会報随想 佐伯さん(次回6月発行 原稿は5/末)

(2) 文化連盟理事会の報告(新井理事)

(3) 第9回ビデオ作品発表会

- ・平成31年5月18日(土) 予定 松心会館3F 32AB会議室
- ・部屋代が上がっていることと長時間に亘り、かなり高く付いている。昼食を取ったことにして割り引きできないか。
- ・準備日程・プログラム等の相談、作品確定の遅れにより今日プログラムは配布できない。
- ・4月中に各自プログラム必要枚数を届けること。
- ・当日総会を行う支部へは寝屋川支部経由で協力要望する。
- ・午前の部 10:00~12:00 午後の部 14:30~16:30  
打ち上げ 17:15~

(4) 撮影会

- ・5/22(日) 雨天の場合は5/24
- ・行き先 けいはんな記念公園 JR寝屋川公園 8:40集合 8:56発乗車 JR祝園下車
- ・入場料200円 年齢の確認できる書類を持てば65才以上無料

## 2. 映写

(1) 佐伯さん「節子の日記 治水緑地公園の桜」 5分

- ・音楽が、初めから終わりまで1曲だが、映像の変化に応じて3曲ぐらいに分ければ、もっと良い。

(2) 新井さん「桜のライトアップin2019」寝屋川打上治水緑地 5分30秒

(3) 小笠原さん「第3回三好長慶公武者行列in大東」(検討用。最終版) 長時間のため部分映写 いいもりプラザ~野崎商店街一帯で撮影(平成31年3月2日)

## 3. 各会員の最近の活動状況・情報交換・当面する問題点等(略)



### ■映像同好会5月例会

日時・場所: 5月8日(水) 13:30~ 市民活動センター4Fこども部屋

出席者: 新井 小笠原 佐伯 妹尾 竹田 谷 中村地区委員

欠席者: 1名(50音順・敬称略)

### 例会次第

#### 1. 報告・連絡・協議事項

(1) 会報随想 佐伯さん(次回6月発行 原稿は5/末)

(2) 映像協会の会計との金銭のやりとりは、9/30と2/20の2回だけ行う、

金融機関を通じて行う。したがって文化連盟会費は新井さんがいるので、まとめて同好会から払う。9/30付けで差額決済する。

(3) 文化連盟理事会の報告（新井理事）

(4) 第9回ビデオ作品発表会

- ・平成31年5月18日（土）予定 松心会館3階32A・B会議室
- ・プログラムは会員に送付済み。
- ・当日総会を行う和泉河内支部へは寝屋川支部経由で協力要請する。
- ・枚方北へは天野さん、妹尾さん経由で配布済み。
- ・午前の部 10:00～12:00 午後の部 14:30～16:30
- ・打ち上げ 17:15～
- ・当日の準備品 役割分担協議（別紙）

(5) 映像協会本年度第1回撮影会

- ・5/22（日）雨天の場合は5/24
- ・行き先 けいはんな記念公園 JR寝屋川公園8:40集合 8:56発乗車 JR祝園下車
- ・入場料200円 年齢の確認できる書類を持てば65才以上無料

2. 映写

(1) 妹尾さん「みちのく三大桜」10分

- ・盛岡石割桜・角館しだれ桜・弘前城の桜

(2) 新井さん「桜のライトアップin2019 寝屋川打上治水緑地」8分45秒

(3) 谷さん「こどもの日に出合った野鳥」3分

- ・カルガモの親子&イカルチドリ

3. 各会員の最近の活動状況・情報交換・当面する問題点等



私が出会ったすごい人たち

佐伯節子

連日真夏日が続いた5月のある日、高校山岳部OBに誘われて「天王寺七坂巡り」に参加した。参加者20数名の年齢は20代から80代と幅広い。

私の卒業した高校は、事情があって昼間の学校へ行けなかった若い人、働きながら学んでいた夜間定時制の人たち、私のように通信制高校を選ぶ者など多彩だ。スクーリングでは得られなかったふれあいはクラブ活動にあった。あこがれていた高校でのクラブ活動、美術部と山岳部に入った。

美術部では絵を描いたり陶芸をしたり、自由にやらせてくれて楽しかった。山岳部に入ったのは、山頂で先生が作ってくれる豚汁とか麺料理とかにつられたから。我々のような年配者が入部すると自ずと無理のないしんどくない山を目指すことになる。それでも私には少しきつかった。同じ苦しさを経験するから山岳部は結束が出来るのかもしれない。おかげで今でも時折お誘いがある。

七坂巡りは天王寺てんしば公園集合。2時間ほどかけてゆっくり歩き谷町九丁目で解散。1学年先輩のM子さんが天王寺のマンションに住んでいるのを思い出して訪ねることにした。

今年88才になるM子さんに出会ったのは10年前。学校で声をかけられ、同世代(?)の4、5人でテストの後に近くの飲食店で食べる事も覚え、同じシニアとして話が合う楽しみを知った。時には仲間で日帰り旅行もした。

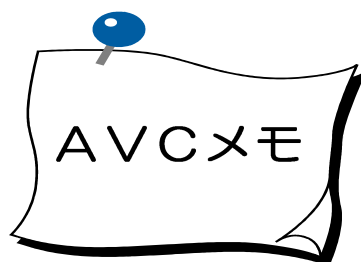
長年彼女が住んでいた鎌倉から、夫の生まれ故郷である大阪に移りマンションに入居、同時期に通信制高校に入学。彼女は女学校を卒業しているが、更に学びたいと意欲満々の高校生活。その1年後に夫は死亡。相続などのややこしい手続きも色々調べたり訊ねたりして自分でやったそうだ。心臓にペースメーカーを入れるような状態になったが勉強は続けた。卒業してからも英語を学びたいと更に大学へ進学。

「大学はスマホがないと駄目なのよ」とか「耳が遠くてヒヤリングに困る」とかホームステイ先での生活とか、たまに会ったときに話してくれた。大学卒業するときには、テレビの取材を受けたとシニア仲間から聞いた。小柄で姿勢が良く、関東人で歯切れ良く、自立心旺盛（私は食欲旺盛）近くに娘夫婦は居るが、自由がいいと同居は断っているらしい。

マンションにお邪魔して驚いた。テーブルの上でアトムロボットがお迎え。一年半かけて自分で組み立てたと言う。毎月部品が送られてきてコツコツ組み立てるタイプのロボット。最後のPCに繋ぐときだけ娘婿に手伝ってもらったというが、完成させることの難しさを知っているから、ひたすら「凄い凄い」を連発しながらアトムと遊んだ。

爪の垢を煎じて飲ませてもらいたい人たちが私の回りにいっぱい居て、幸せ。今回はM子さんの巻。いつまでも元気でいて欲しい。

最後に、せっかく「七坂巡り」には行っただが、付いて歩くのがやっとでビデオを撮る余裕はなかった事をお断りしておきます。



「これは私の声ではない」

竹田幸男

「これは私の声ではない！」まだ、テープレコーダーが

珍しかった頃、テープレコーダーに向かって初めて録音した人は異口同音にこう叫んだものです。所が、周りの人にすれば、テープレコーダーから出てくる声は、その人の声に近い、と思いながら聞いていたと思います。今は、身の回りに音を録音する機会が多いから、そういう人は余り見かけなくなりましたが、何となく自分の生の声には違和感を抱いている人は多いと思います。この、自分の声に対する違和感は、次のような理由によるものです。

人の声は声帯の振動で発音されて、口から空間に発せられて空気を伝って本人と他の人の耳に届き、それぞれの中耳の鼓膜を振動させ内耳の聴覚神経に伝わって音として感じます。これを気導音と言います。

同時に声帯からは、本人の頭蓋骨を伝わって聴覚神経に伝達されます。こうして伝わった音を骨導音、または骨伝導音と言います。他の人は、この空間を伝わった音だけを、その人の声として聞き取ります。所が声を発した人自身は、この空間を伝わった自分の声（気導音）に加えて、自分の体の中の骨を伝わって聴覚神経に届いた骨導音とを合成した音を、自分の声だと思って聞きます。自分の体の中の骨を伝わった音は、高い音の成分が少なく、籠もった音になります。だから相手が聞いている本当の自分の声よりも、籠もった音（美化された音？）を、自分の声だと思って聞いているわけです。

最初に書いた、テープレコーダーで再生された声は、相手が聞いている、空間を伝わった声なので、籠もりのない、はっきりした音になっています。つまり、いつも自分の声だと思っていた、美化された声とは違う声がテープレコーダーから再生されますが、これこそが自分の本当の声に近いのです。

この、ご自分の声に対する違和感のおかげで、「私は声が悪い」と思っている方が多いようです。その結果、コンピューターによる合成音声に頼る人が多いように思われますが、合成音声は感情表現が苦手です。感情を込めた作品には、やはり生の声が欲しいもの。勇気を出して取り組んで頂きたいものと思います。 ■